

## 産地生産基盤パワーアップ事業(収益性向上対策)評価書

都道府県名	事業実施地区数 (ア) <sup>※1</sup>	評価対象外地区数 (イ) <sup>※2</sup>	評価対象地区数 (ア-イ)	成果目標の平均達成率 ※3	評価対象地区数のうち、都道府県が地域協議会へ改善指導を必要とした地区数	地方農政局等から都道府県計画の改善指導の必要の有無	【参考】評価対象地区数のうち、達成率80未満の地区数	評価対象外の地区がある場合、その代表的な理由	都道府県による総合所見	地方農政局等による総合所見
北海道	26	0	26	84.9	7	有	5	—	令和6年度の評価対象の地区は26地区あり、北海道の平均達成率は84.9%であった。 成果目標の達成率が80%未満の地区は5地区あり、販売額の増加や労働生産性の向上を目標とした地区においては、天候の影響による収量の減少や販売単価の低下が未達の主要因となっている。 また、コスト削減を目標とした地区においては、近年の人件費や電気料金等の上昇が未達の要因となっている。 成果目標が未達となった地区に対しては、原因の分析や目標達成に向けた推進体制等について検討・整備させるとともに、早期の成果目標達成に向けて引き続き指導を行っていく。	・成果目標達成率90%未満の地区について、未達となった主な原因は、昨今の高温障害による生産量の減少や品質低下のほか、気候変動を起因とした生産管理に係る労働時間の増加や光熱費の高騰によるコスト増等があった。 ・次年度以降に成果目標の達成が見込まれる地区もあるが、成果目標の達成率が低調な地区に対しては、個々の未達要因を精査し、早期の成果目標達成に向けて的確な改善指導を行うよう、北海道に対して指導していく。

※1評価年度を迎えた地区数を記載する。(中間評価は除く。)

※2評価対象外地区数については、天災等の外部的要因により、評価対象と判断されなかったものについて記入する。

※3小数点第1位まで記載する。(小数点第2位切捨て)

別添様式3

成果目標の達成率が80%未満の地域協議会(収益性向上対策)

【北海道農政事務所】

都道府県名	市町村名	地域協議会名	整理番号	作物等区分 (対象作物名)	成果目標	現状値	目標値	事業実施後(目標年度)	目標達成状況	(参考) 都道府県による改善指導の判断理由
								実績値		
北海道	南幌町	南幌町農業再生協議会	1	水稻	集出荷コストの10%以上の削減	64,628千円 (R3)	49,882千円 (R6)	69,638千円	-34.0%	操業日数は計画以上に削減されているものの、全体的な諸費用の高騰により目標未達となっているため、目標達成に向けて、引き続き施設費用の削減等に務めるよう指導する。
北海道	今金町	今金町地域農業再生協議会	2	ミニトマト、アスパラガス	総販売額の10%以上の増加	7,904千円 (R2)	28,175千円 (R6)	23,391千円	76.4%	令和5年の猛暑の影響で収量が減少したことにより、販売額が低下したが、今年、平年並の収量が確保できれば目標達成は可能であると見込まれる。
北海道	旭川市	旭川市農業再生協議会	1	水稻	契約栽培の割合の10%以上の増加かつ50%以上とすること	0.0% (R3)	100.0% (R6)	0.0%	0.0%	想定外の米価高騰により契約交渉決裂は、止むを得なかったものと考えられる。今後は、目標達成に向け、取組主体において、当初計画の契約先や新たな契約先となりうる実需者との交渉をする必要がある。
北海道	小清水町	小清水町農業再生協議会	3	グリーンアスパラ	労働生産性の10%以上向上	1,733円/時間 (R3)	2,311円/時間 (R6)	1,848円/時間	19.9%	取扱量減及び気象等により令和6年度は価格補正後の労働時間当たり販売額が1,848円と目標に届かなかった。効果販売路への販売拡大をし、次年度以降の達成を目指す。
北海道	当別町	当別町農業再生協議会	2	小麦	労働生産性の10%以上向上	25,561円/時間 (R2)	29,702円/時間 (R5)	27,946円/時間	57.0%	関係機関と連携して収量の増加のため営農指導の強化やJA出荷の声掛け等を実施し、収量が増加安定していくことで目標達成できるよう指導していく。

(注) 1. 本表は、要領第16の4により、都道府県が改善措置の指導が必要とした地域協議会のうち、成果目標の達成率が80%に満たなかった地域協議会(要領第17の2関係)について記入する。

2. 実績欄は、地域(県又は国を含む)の販売単価による価格補正を行っている場合は価格補正後の実績を記入する。